

『担い合うまちづくり』

市民の皆さんとともに、このまちを支え合う協働によるまちづくりを進めています。

ホストタウンの取り組み

▶問い合わせ 企画調整グループ (☎01122)

平成29年12月に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるデンマーク王国の『ホストタウン』に登録された登別市。デンマーク王国の関係者と多くの市民が交流することで、デンマーク王国に対する理解を深めるとともに、さらなる国際交流の推進を図っています。また、スポーツの振興や子どもたちがオリンピック・パラリンピアンから直接、スポーツの素晴らしさを学び、夢や希望をもつきっかけづくりにつなげることなどを目指しています。

平成30年度は、駐日デンマーク王国大使を招聘し、市民の皆さんと交流したほか、民間企業の協力を得ながら、さまざまな取り組みを実施しています。



▲駐日デンマーク王国大使を講師に招き実施した講演会（幌別中学校）



▲市民にデンマーク王国の文化や歴史などを紹介した国際理解講座



▲栄養セミナーや軽運動などを行い、市民がスポーツに親しむ機会の創出などを図ったアクティブフォースリープロジェクト

市民憲章の推進

事業費 57万3千円

▶問い合わせ 市民協働グループ (☎01079)

平成30年9月20日(木)で制定から50周年を迎えた登別市民憲章。9月22日(土)には、市民会館で、『登別市民憲章制定50周年記念式典』を開催し、市民憲章の普及・啓発活動に尽力された団体への感謝状贈呈のほか、市民憲章にまつわる各コンテストなどの表彰や記念講演、市内の中学校の生徒計70人による合同記念コンサートなどを行いました。

式典の結びには、登別市民憲章推進協議会による『市民憲章のさらなる推進の誓い』を行うなど、参加した約400人の市民の皆さんとともに、市民憲章に込められた想いを再確認しました。



◀市民憲章の普及・啓発活動に寄与した2団体への感謝状贈呈

▶市民が演奏に聴き入った幌別中学校・登別の生徒による合同記念コンサート



市役所本庁舎の建て替えに向けた取り組み

▶問い合わせ 総務部総務グループ (☎01130)

『まちづくりの拠点』、そして『防災の要』ともなる市役所本庁舎。市は、市民から広く意見を聞きながら検討を重ね、新庁舎の位置や機能・規模などの基本的な考え方をまとめた『登別市本庁舎建設基本構想』を平成30年9月に策定し、現庁舎の敷地内に新庁舎を新築することとしました。

今後は、この基本構想をもとに市民の皆さんや関係団体と協議を重ね、平成31年度の基本計画策定を進めていきます。

▶老朽化が進んでいる市役所本庁舎

